

チームリーダー(管理職)の役割りⅡ

チームリーダーの役割は ①仕事の管理をすること ②仕事の改善をすること ③職場の人間関係を良好にすること ④部下の指導育成を行うこと。この4つの中でチームリーダーが最も重要かつウエイトをかけるべきは、「部下の指導育成」です。上司たる者、常に後継者・代行者を育成し、戦力化して行く為の指導・育成体制を作り上げる事が強く求められます。

「部下の指導育成」の為にチームリーダーが行うべきことは、以下のようなものです。

① 部下の動機づけをする

部下に仕事を任せて育成するためには、仕事に対する部下の意欲を引き出せる環境作りが大切です。前向きに仕事に取り組めるよう声掛けをし、動機づけを行っていくこと。

② 目標を設定する

部下へ仕事を割り当てる前に、ひとり一人納得の対話をおこない、どの方向に伸ばしていくのか育成目標を設定していくこと。

③ 適切な指導を行う

部下の仕事内容を把握し、部下から発せられるシグナル(言動・行動・立ち居振る舞いなど仕事に取り組む態度)を敏感に察知することもチームリーダーの仕事です。そして自ら成長するように部下を指導し、精神的にもサポートすること。

④ 定期的に評価・フィードバックを行う

部下と共に定期的(1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、1年の節目を作って)に仕事内容や業績を振り返り、フィードバックをして改善ポイントを認識してもらうこと。

チームリーダーが部下と常に意思疎通し、課題を共有し合うことが、部下の成長に繋がっていきます

